

第3問 (30点)

会計期間を1月1日より12月31日までとする大手町商店の次に示した〔資料Ⅰ〕および〔資料Ⅱ〕にもとづいて、平成24年1月31日の残高試算表を作成しなさい。

〔資料Ⅰ〕

繰越試算表

平成23年12月31日

借方	勘定科目	貸方
407,000	現金	
372,000	当座預金	
253,000	受取手形	
347,000	売掛金	
50,000	前払金	
240,000	売買目的有価証券	
660,000	貸付金	
121,000	繰越商品	
2,000	未収利息	
1,200,000	建物	
600,000	備品	
	支払手形	271,000
	買掛金	287,000
	未払広告宣伝費	19,000
	借入金	600,000
	貸倒引当金	14,000
	建物減価償却累計額	360,000
	備品減価償却累計額	72,000
	資本金	2,629,000
4,252,000		4,252,000

〔資料Ⅱ〕平成24年1月中の取引

1. 前期末に見越計上された損益項目の再振替処理を期首に行った。
2. 1月1日の備品（取得原価¥60,000、減価償却累計額¥36,000）の売却による現金¥22,000の受取り。
3. 売掛金¥62,000の現金による回収。
4. 現金売上による¥53,000の受取り。
5. 買掛金¥36,000の現金による支払い。
6. 当座預金口座へ現金¥80,000の預入れ。
7. 他人振出し小切手による売掛金¥50,000の回収後、ただちに当座預金に預入れ。
8. 現金による¥23,000の仕入れ。
9. 他人振出し小切手による手数料¥16,000の受取後、ただちに当座預金に預入れ。
10. 従業員へ旅費¥40,000の現金による概算払い。
11. 広告宣伝費¥38,000の小切手振出しによる支払い。
12. ¥141,000の掛売上。
13. 売上による約束手形¥165,000の受取り。
14. 満期日到来による受取手形¥70,000の当座預金口座への振込み。

15. ¥86,000 の掛仕入。
16. 仕入¥73,000 に対する約束手形の振出し。
17. 既に支払っていた手付金¥50,000 による仕入れ。
18. 決済日到来による支払手形¥68,000 の当座預金口座からの引落し。
19. 取得原価¥140,000 の売買目的有価証券を¥153,000 で売却したが、代金は未収。
20. 貸付金の回収による、元金¥660,000 と利息¥4,000 の当座預金口座への振込み。
21. 小切手振出しによる借入金利息¥7,000 の支払い。
22. 出張していた 10. の従業員が帰店後、旅費の精算をし、残額¥9,000 を現金で受取り。
23. 今月分の従業員への給料¥83,000 を当座預金口座から引落し。